

令和6年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和5年度事業対象)

令和6年7月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検・評価を行い、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表しております。

令和6年度においても点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和5年度において実施した事業の中から、重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和6年7月

浦添市教育委員会

教育長 銘 莉 健

職務代理者 東 健 策

委員 手登根 雄次

委員 下地 イツ子

委員 宮 城 靖

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 目的	
3 学識経験者の知見の活用	
4 点検・評価の方法	
II 本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1 対象となる事業の考え方	
2 点検・評価の様式	
3 点検・評価書の見方	
4 学識経験者の知見の活用	
III 教育委員会点検・評価書	
1 教育委員の活動評価	4
(1) 概要	
(2) 名簿	
(3) 教育委員の活動状況	
(4) 教育委員の活動自己評価	
2 教育長への委任事務評価	
点検評価対象事業一覧	6
(1) 社会教育 (No.1 ~No. 4)	
(2) 文化芸術 (No.5 ~No. 6)	
(3) 学校教育 (No.7 ~No.11)	
資 料	
1 教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2 教育委員の活動状況	(4)
3 教育長の活動状況	(6)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用は、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委任事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和5年度に実施した11の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成29年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委任事務」については、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委任事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|---|
| 1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として |
| ・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに |
| ・有効→3点 ・概ね有効 →2点 |
| ・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う |
| ・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点 |
| ・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度・・・本事業が他に比べて |
| ・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点 |
| ・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10点以上 B→8～9点 C→6～7点 D→5点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿		(五十音順・敬称略)
氏名	専門分野	事業担当部署
手登根 仁美	社会教育	教育部
古波蔵 豊	文化芸術	教育部
平 良 亮	学校教育	指導部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1)教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

Ⅰ 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和6年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	銘 莉 健	令和5年6月7日～令和8年6月6日
職務代理者	手登根 雄次	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委員	下地 イツ子	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	宮 城 靖	令和5年4月1日～令和9年3月31日
委員	東 健 策	令和5年7月21日～令和7年4月19日

(3) 教育委員の活動状況

	内 容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	17
2	総合教育会議	0
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	13
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	15
6	各種行事(式典・大会等)	20
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	10

(4) 教育委員の活動自己評価

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞ A:よくできた B:できた C:不十分		
項目	内容	評価
教育委員会会議について	1 方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。 ○常に公正公平性を心がけ、急な対応においても会議を開催することができた。	A
	2 議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。 ○議案決定に際しては、事前の勉強会開催や適切な関連資料が提供され、十分な協議のもとに審議することができた。	A
	3 議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。 ○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。	A
地域住民の意向の反映について	1 学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。 ○市立の全小中学校を訪問し、主にICTを活用した工夫ある授業の取組が把握できた。また、校長及び管理職等との意見・情報交換を行うことで各学校の実情を把握し、課題等については、持ち帰り、担当する所管課に情報共有を行い、適切な支援に努めることができた。	A
	2 社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。 ○これまで控えていた各種行事等にも積極的に参加し、令和4年度と比較して多くの行事に参加することができた。これにより、各行事の様子、状況等を確認し、現状把握することができた。	A
	3 外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。 ○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。	A
教育長について	1 教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。 ○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	A
	2 会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。 ○ 会議の議事録は事務局の迅速な作成で、審議内容を各委員で共有化できた。 ○教育委員会会議の概要を市ホームページで公開している。 ○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。	A

2 令和6年度 教育長への委任事務評価(令和5年度実施事業)

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	社会教育推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	手登根 仁美 氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	3	2	3	A	
3		中央公民館運営事業	社会教育推進課 (中央公民館)	3	2	2	3	A	
4		図書館運営事業	社会教育推進課 (図書館)	3	2	3	3	A	
5	文化芸術	浦添市内遺跡発掘調査事業	文化財課	3	3	3	3	A	古波蔵 豊 氏
6		美術館運営事業	文化財課 (美術館)	3	3	3	3	A	
7	学校教育	学力向上対策事業	学校教育課	3	3	3	3	A	平良 亮 氏
8		外国語指導事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
9		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	3	3	A	
10		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
11		学校給食費補助金交付事業	学校給食調理場	3	3	3	3	A	

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	I	事業名	社会教育推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	手登根 仁美	
事業概要	<p>生活の向上や自己実現を目指す市民に学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動への支援を行う。また、社会教育関係団体の育成及びその活動支援を行うことで、地域社会活動の活性化を促し社会教育の推進を図る。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 浦添市てだこ学園大学院運営委託 ○講座科目:41科目(1年次) 39科目(2年次) 入学生:28名 卒業生:15名(延べ1,252名) てだこ学園大学院の委託先であるてだこ学園は、卒業生が理事となって大学院を運営しており、学びの循環が出来ている。</p> <p>(2) 社会教育関係団体活動の支援 ○浦添市PTA連合会 1,376,840円 ○浦添市婦人連合会 1,561,129円 補助金交付により団体活動の充実及び社会教育活動の推進が図られた。</p>				
課題	<p>○てだこ学園大学院については、学びの循環は出来ているが、地域に学びを還元している成果について可視化していく必要がある。</p> <p>○てだこ学園大学院について、活動場所である施設の老朽化もあり今後の活動場所や講座内容等検討していく必要がある。</p> <p>○婦人連合会に関しては高齢化、市PTA連合会に関しては任意加入によるものという認識の広がりから会員の減少が進んでいる。</p>				
今後の方向	<p>○てだこ学園大学院と連携しながら講座内容等の見直しも図りながら活動支援及び社会教育の推進に努める。</p> <p>○地域に学びを還元している成果について可視化が図れるようにアンケート等を実施する。</p> <p>○社会教育団体においては、新たな参加者につながる活動内容の工夫や広く親しみやすい団体窓口のあり方について助言していきたい。</p> <p>○社会教育の推進(あり方)について、社会教育委員の会議において諮問し答申を待っているところである。</p>				
有識者の意見	<p>○社会教育推進事業として、社会教育関係団体の活動及び支援以外の事業概要、社会教育の推進(あり方)について、社会教育委員会議の諮問答申に期待したい。市民の学びに関する場と活動の支援を公民館運営事業へ統合、市民にとってより充実したものになることを評価する。</p> <p>○本市の特色ある社会教育活動の一つが、卒業生自ら運営(委託業務)している「てだこ学園大学院」であるが、参加者個人のニーズのみならず、社会のニーズにも即した学習プログラムが必要である。生涯学習の点では民間事業者も多くの有用なプログラムを提供している時代にあって、市が委託している点で、少なからず差別化を図る必要がある。社会教育主事資格者を配置している中で、その力を是非活かせるように努めてほしい。</p> <p>○高齢化や納税者数の減少等未来を見据えた時、社会教育関係団体活動の支援(補助金交付含む)について、課題解決(価値観、多様性等)は避けては通れない課題である。会員数に対して、市、県等の動員要請やイベント事業など負担になっていないだろうか。会員の減少が課題に挙げられているが、もっと掘り下げて調査研究をする必要はないだろうか。すぐに解決できるものではないが、社会教育主事が未来に向けたアウトラインを描けるのではないだろうか。本市の次なる総合計画策定に当たっても、社会教育施設(公民館、図書館等)含め調査研究を継続して進めていただきたい。</p> <p>○市民の学びを通じた自己実現や学びを還元することで、地域づくりにつなぐことを目指す社会教育の役割は大きい。その核となる社会教育主事資格取得の講習派遣を高く評価する。ぜひ継続、あるいはステップアップのための研修等スキルアップを目指していただきたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	2	事業名	放課後子ども教室推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	手登根 仁美	
事業概要	放課後や週末等に、安全・安心な場所(空き教室や児童センター、公民館等)で、地域の方々の協力を得て、子どもたちが学習やスポーツ、文化活動及び地域交流活動等の体験・交流活動をする機会を提供し、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。(平成19年度より文部科学省及び厚生労働省の連携のもと開始)				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 実施教室数 →19教室(R4 17教室、R3 18教室) ボランティア人数</p> <p>(2) 実人数 →101人(R4 102人、R3 150人) 延べ人数 →4,195人(R4 4,158人、R3 2,267人)</p> <p>(3) 実施日数 →1,208日(R4 1,195日、R3 712日)</p> <p>(4) その他 →地域の方々の協力のもと、子どもたちに学習の機会や文化活動等を提供することができ、活動を通し地域の大人と積極的な交流や子どもたちの自主性・社会性を育むことができた。また、ボランティア数、実施日数が増加し、活動が活発化できた。 →令和元年度以来実施できていなかった浦城小学校区において教室を実施できた。</p>				
課題	<p>○空き教室やボランティア人員の不足により全小学校区における教室開設が難しく、小学校区により実施教室数の偏りがある。</p> <p>○参加児童がいなくなり、終了した活動がある。</p> <p>○放課後児童クラブ(学童)との連携・協力を推進する「新・放課後子ども総合プラン」(令和6年度からは「放課後児童対策パッケージ」)が目指す校内交流型(一体型)の要件である協議会が設置できていない。</p>				
今後の方向	<p>○全小学校区における教室開設を目指し、推進員及びボランティアと連携し、事業活動の内容充実を目指す。</p> <p>○参加児童を増やすため、教室の代表者と相談し、周知方法の見直し、児童ニーズの把握等を行う。</p> <p>○校内交流型(一体型)の要件である協議会を実施するため、協議会の委員となる放課後子ども教室関係者と放課後児童クラブそれぞれの立場から見た協議会の有効性や必要性について学童所管課と協議する。</p>				
有識者の意見	<p>○子ども達に関わる重大事件の続発から平成16年度より緊急対策として実施した「地域子ども教室」が前身となり、現在の「放課後子ども教室推進事業」あるいは「新・放課後子ども総合プラン」へと導かれるかと思うが、事業検証するにあたり最大の目的は、子ども達の放課後の居場所となり得ているかという点である。子ども達にとって、それが学校の空き教室なのか、地域(自治会)なのか、児童センターなのかであり、参加人数に注力するあまり子どもの取り合いになっていないだろうか。はたまた、波及効果である子どもの自主性、協調性、社会性などの向上が目的になってはいないだろうか、あるいは子ども達が参加しづらいものにはなっていないだろうか。そういった点も理解、共有して事業推進していただきたい。</p> <p>○安全面のルール順守は運営者、参加者双方に必要ではあるが、あらゆる子どもに対応していく難しさを伴う場合もある。そういった点で、地域学校協働活動推進員の役割は大きく、各小学校区に配置している点を評価するとともに、必要とされる知識を含め、人材育成と研修の充実をお願いしたい。</p> <p>○教室数としては減少しているかもわからないが、現在浦添小学校区には茶山自治会による教室運営があり、これを持って市内全小学校区に配置していると考えられるのではないだろうか。</p> <p>○教室運営者や参加者にとっての喜びになるような発表等の機会を設けている点を評価したい。</p> <p>○子ども達の放課後に関わる関連各課との連携、協議を進めていき、関わっている教室運営者と参加者により良いものになるよう期待したい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	3	事業名	中央公民館運営事業		
担当課	社会教育推進課(中央公民館)		有識者	手登根 仁美	
事業概要	多様な価値観に対応した社会教育推進の取組として、地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた「公民館講座」、自治公民館が主体となった「自治公民館講座」の開設等、学習支援を通じて「まなぶ・つどう・つなぐ・いかす」社会教育の場を提供する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 中央公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 講座全 67 回実施 (R4 年度 13 講座全 28 回) ・ 学習者延べ 6,331 名 <p>※地域住民の学習活動の活性化及び地域力を図る目的で出前講座「自治公民館おでかけ講座」を実施 ※R5 年度の重点目標のひとつに「30 代~50 代が参加できる講座の工夫」を掲げ、マナー教育やサンレレ(三線×ウクレレ)講座を企画。普段参加の少ない中堅層や男性の姿が多くみられた</p> <p>(2) 自治公民館講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13 自治公民館 23 講座全 83 回開設 (R4 年度 13 自治公民館 22 講座全 66 回) ・ 学習者延べ 900 名 <p>※講座を開設した自治公民館の数は前年度と横ばいではあるが、コロナ5類移行後、講座開設に向けた学習相談数が多くみられるようになっている</p> <p>(3) 自主企画まなび助成制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 グループ全 20 回活用 (R4 年度 10 グループ全 37 回) ・ 学習者延べ 203 名 <p>(4) 定期利用団体(公民館サークル)及び各種関係団体の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館登録活動団体 82 団体 (R4 年度 83 団体) <p>(5) うらそえ社会教育いきいきまつり 2023 舞台発表・ダンス交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年 8 月 19 日(土) アイム・ユニバースてだこホール 小ホール・市民交流室 ・ 参加及び来場者延べ 650 名 				
課題	○施設の老朽化及び再配置検討に伴う事業展開				
今後の方向	○成果発表の場の提供として実施している「うらそえ社会教育いきいきまつり」について、市民協働・男女共同参画課と連携し、R7 年度より「市民協働とまなびのフェスタ浦添」と融合させる方向で進めている ※R7.11月アイム・ユニバースてだこホール全施設先行予約済				
有識者の意見	<p>○市民が学ぶ講座について社会教育推進事業より移行し、予算、社会教育指導員の配置を一本化することで、学習分野及び対象者に対して学びの均衡が図られ充実した講座となったことは高く評価できるとともに、昨年度有識者意見についても改善が図られている。</p> <p>○コロナ禍以降、縮小気味の自治公民館講座についても、「お出かけ講座」として具体的な策をアウトリーチ型講座として実践した点も高く評価したい。今後も継続して、地域での学びの場の提供普及に努めていただきたい。</p> <p>○自主企画まなび助成制度の普及にはもう少し工夫が必要のようだが、公民館講座を終えた後に自分たちで学びを継続できるようなヒントや講座があると良いと思う。例えば民生委員対象とした講座の後、例を挙げながら自主企画講座へと導く等(有志で出来る必要課題の解決)</p> <p>○従来、課題であった公民館サークル等の公民館利用について、生涯学習活動の支援のあり方を整理し、市民にとって公平でより分かりやすくなったことを非常に高く評価したい。</p> <p>○学びの成果発表の場として試行錯誤を重ね、運営側、成果発表者側、来場・目にする事で学びの機会に出会う市民、三方よしてより良いものを目指していく今後の方向を期待する。</p> <p>○市として今後どのような社会教育(施設)を作り上げていくのか、十分な検証、研究が必要だが、コロナ禍がきっかけとなり、ZOOM や YouTube を活用した講座をすることが出来た様にいつでも、だれでも、どこでも学べる、学びの場作りをワクワクしながら作ってもらいたい。</p> <p>○講座申し込みや公民館について、ネット検索が分かりやすく簡単になり、市民サービスの向上につながっている点を評価したい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	4	事業名	図書館運営事業																																																																																														
担当課	社会教育推進課(図書館)		有識者	手登根 仁美																																																																																													
事業概要	浦添市立図書館は図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション等活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応する。																																																																																																
評価	必要性	有効性	効率性	優先度																																																																																													
	3	2	3	3																																																																																													
	A																																																																																																
成果等	<p>(1) 図書資料等の貸出業務</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">R5年度</th> <th style="text-align: center;">R4年度</th> <th style="text-align: center;">R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td style="text-align: right;">303,150冊</td> <td style="text-align: right;">308,736冊</td> <td style="text-align: right;">235,576冊</td> </tr> <tr> <td>1日平均貸出冊数</td> <td style="text-align: right;">1,079冊</td> <td style="text-align: right;">1,103冊</td> <td style="text-align: right;">1,189冊</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td style="text-align: right;">69,211人</td> <td style="text-align: right;">70,031人</td> <td style="text-align: right;">52,760人</td> </tr> <tr> <td>1日平均貸出人数</td> <td style="text-align: right;">246人</td> <td style="text-align: right;">250人</td> <td style="text-align: right;">266人</td> </tr> <tr> <td>予約総数</td> <td style="text-align: right;">17,503件</td> <td style="text-align: right;">20,214件</td> <td style="text-align: right;">22,130件</td> </tr> <tr> <td>Web予約数</td> <td style="text-align: right;">14,028件</td> <td style="text-align: right;">16,572件</td> <td style="text-align: right;">18,513件</td> </tr> <tr> <td>新規利用申請者数</td> <td style="text-align: right;">981人</td> <td style="text-align: right;">2,826人</td> <td style="text-align: right;">1,311人</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td style="text-align: right;">281日</td> <td style="text-align: right;">280日</td> <td style="text-align: right;">198日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 雑誌スポンサー制度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">R5年度</th> <th style="text-align: center;">R4年度</th> <th style="text-align: center;">R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業数</td> <td style="text-align: right;">22事業所</td> <td style="text-align: right;">19事業所</td> <td style="text-align: right;">12事業所</td> </tr> <tr> <td>タイトル数</td> <td style="text-align: right;">30タイトル</td> <td style="text-align: right;">23タイトル</td> <td style="text-align: right;">14タイトル</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td style="text-align: right;">341,068円</td> <td style="text-align: right;">262,864円</td> <td style="text-align: right;">161,758円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 電子図書館事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">R5年度</th> <th style="text-align: center;">R4年度</th> <th style="text-align: center;">R3年度(2カ月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td style="text-align: right;">16,268冊</td> <td style="text-align: right;">11,762冊</td> <td style="text-align: right;">3,685冊</td> </tr> <tr> <td>1日平均貸出冊数</td> <td style="text-align: right;">45冊</td> <td style="text-align: right;">32冊</td> <td style="text-align: right;">62冊</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td style="text-align: right;">2,898人</td> <td style="text-align: right;">2,439人</td> <td style="text-align: right;">739人</td> </tr> <tr> <td>1日平均貸出人数</td> <td style="text-align: right;">8人</td> <td style="text-align: right;">6人</td> <td style="text-align: right;">12人</td> </tr> <tr> <td>総閲覧数(PV)</td> <td style="text-align: right;">29,606PV</td> <td style="text-align: right;">24,091PV</td> <td style="text-align: right;">6,932PV</td> </tr> <tr> <td>うちログイン不要(PV)</td> <td style="text-align: right;">315PV</td> <td style="text-align: right;">6PV</td> <td style="text-align: right;">0PV</td> </tr> </tbody> </table> <p>※電子図書館は令和4年2月より開始 ※R5年10月に市内小中学校生徒及び教職員に電子図書館専用アカウントを付与した。 電子図書館導入当初は、「1日貸出冊数目標50冊」を目標に運営していた。より一層の利用を目指すため、令和5年10月に小中学校全生徒と教職員に電子図書館専用アカウントを付与したところ、ほぼ目標値に達することができた。 ※総閲覧数(PV)は、電子書籍を閲覧した回数(1冊の本を2回に分けて読むと2PVとなる) ※ログイン不要(PV)は浦添市独自資料でログインせず読める資料(YA文芸賞作品等)</p> <p>(4) 2023うらそえYA文芸賞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">R5年度</th> <th style="text-align: center;">R4年度</th> <th style="text-align: center;">R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短編小説部門</td> <td style="text-align: right;">26人</td> <td style="text-align: right;">33人</td> <td style="text-align: right;">14人</td> </tr> <tr> <td>詩部門</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td style="text-align: right;">179人</td> <td style="text-align: right;">6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) ビブリアバトルの体験の実施 ・YA世代(中学生・高校生)への読書活動の取組として、「ビブリアバトル」(知的書評合戦)を開催。 読書を通じた表現力やコミュニケーション力の育成を図る。 市内中学校1校 参加数:生徒29人 教員4人 学校司書7人</p>						R5年度	R4年度	R3年度	貸出冊数	303,150冊	308,736冊	235,576冊	1日平均貸出冊数	1,079冊	1,103冊	1,189冊	貸出人数	69,211人	70,031人	52,760人	1日平均貸出人数	246人	250人	266人	予約総数	17,503件	20,214件	22,130件	Web予約数	14,028件	16,572件	18,513件	新規利用申請者数	981人	2,826人	1,311人	開館日数	281日	280日	198日		R5年度	R4年度	R3年度	企業数	22事業所	19事業所	12事業所	タイトル数	30タイトル	23タイトル	14タイトル	金額	341,068円	262,864円	161,758円		R5年度	R4年度	R3年度(2カ月)	貸出冊数	16,268冊	11,762冊	3,685冊	1日平均貸出冊数	45冊	32冊	62冊	貸出人数	2,898人	2,439人	739人	1日平均貸出人数	8人	6人	12人	総閲覧数(PV)	29,606PV	24,091PV	6,932PV	うちログイン不要(PV)	315PV	6PV	0PV		R5年度	R4年度	R3年度	短編小説部門	26人	33人	14人	詩部門	5人	179人	6人
	R5年度	R4年度	R3年度																																																																																														
貸出冊数	303,150冊	308,736冊	235,576冊																																																																																														
1日平均貸出冊数	1,079冊	1,103冊	1,189冊																																																																																														
貸出人数	69,211人	70,031人	52,760人																																																																																														
1日平均貸出人数	246人	250人	266人																																																																																														
予約総数	17,503件	20,214件	22,130件																																																																																														
Web予約数	14,028件	16,572件	18,513件																																																																																														
新規利用申請者数	981人	2,826人	1,311人																																																																																														
開館日数	281日	280日	198日																																																																																														
	R5年度	R4年度	R3年度																																																																																														
企業数	22事業所	19事業所	12事業所																																																																																														
タイトル数	30タイトル	23タイトル	14タイトル																																																																																														
金額	341,068円	262,864円	161,758円																																																																																														
	R5年度	R4年度	R3年度(2カ月)																																																																																														
貸出冊数	16,268冊	11,762冊	3,685冊																																																																																														
1日平均貸出冊数	45冊	32冊	62冊																																																																																														
貸出人数	2,898人	2,439人	739人																																																																																														
1日平均貸出人数	8人	6人	12人																																																																																														
総閲覧数(PV)	29,606PV	24,091PV	6,932PV																																																																																														
うちログイン不要(PV)	315PV	6PV	0PV																																																																																														
	R5年度	R4年度	R3年度																																																																																														
短編小説部門	26人	33人	14人																																																																																														
詩部門	5人	179人	6人																																																																																														

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度に比べ令和5年度は、貸出冊数がわずかに減少しているが、ほぼ横ばい(若干減少)である。 ○令和5年度新規利用者数の減少について、令和4年度に学校に依頼し、各学年の生徒へ図書館利用申請書を配布し加入促進したため、令和5年度の申請者が減ったものと思われる。 ○電子図書館の蔵書数がR5年3月末には4,037冊あったが、R6年3月末現在一部蔵書の2年間のリース期間切れを迎え、3,301冊に減少した。
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度と同じように平均貸出冊数は、ほぼ横ばい(若干減少)。引き続き利用者の興味・関心を引き出すような様々な企画を催し、変化に富んだ資料の展示、提供等を実施し、貸出冊数の増加につなげたい。また図書館前掲示板を活用した広報も併せて行うよう努める。また、業務日誌や「みんなのこえ」など利用者からの直接の意見から、需要につながる情報を収集し資料のバランスを考えながら蔵書の充実を図る。 ○雑誌スポンサー制度は、事業所、タイトル共に増加しており、協力事業所のPR及び新規スポンサーの開拓につながるための手法検討が必要であり、引き続き促進に努める。 ○電子図書貸出ランキングだけでなく図書館内の書籍とも検討し、利用者の増加につながる方法を検討する。また、認知度を上げるため、市のLINEや図書館X(旧ツイッター)を活用し広報に努める。 ○YA文芸賞及びビブリオバトル体験は、YA世代の読書活動推進のため、教育機関と連携し取り組む
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○貸出冊数がほぼ横ばいではあるものの、スマホをはじめとするネット社会においては必ずしも悪い結果とはいえ、コロナ禍以降の利用者数回復に見る本市図書館運営については評価できるものである。 ○評価できる取組として、紙媒体の書籍の充実はもとより、電子書籍の活用を図るべく展開している電子図書館事業は時代にマッチした市民ニーズに応える取り組みであり、令和4年2月から開始したものであるが、確実に広がりを見せていることを評価したい。 ○生涯学習の視点に立った図書館の役割において、あらゆる年代、あらゆる地域へ届けなければならないが、その点においても「としまる」をはじめとする移動図書館事業、アウトリーチ型の「出張!おはなしのたから箱」などの取組、充実を評価したい。 ○本市の特色ある社会資源としての、歴史・文化、JICAを活用した企画を評価するとともに、文化財課、国際交流課、あるいはNPOその他ボランティアを含む団体等と連携しながら、更なる充実を図ることを期待したい。 ○YA世代に向けた「うらそえYA文芸賞」等、図書館を通して知的好奇心をくすぐり、深め、インプットしたのちアウトプットしていく場を作っていく取組を評価し、継続を願うとともに、超高齢化時代の中、大人の俳句、川柳、短歌などのコンテストなどはどうだろうか。 ○多種多様な事業展開が、困難な時期(コロナ禍における運営)においても雑誌スポンサー制度に見る予算面の確保等職員一人ひとりの様々な工夫と努力によって、市民のための図書館づくりに邁進していることを高く評価したい。

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	5	事業名	浦添市内遺跡発掘調査事業		
担当課	文化財課		有識者	古波蔵 豊	
事業概要	市内における大規模開発に際して、埋蔵文化財の有無の試掘調査及び範囲確認調査を実施して埋蔵文化財の適切な保護と調整の円滑化を図る。また、重要な遺跡について範囲及び性格を確認し保護を図るものである。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 範囲確認調査</p> <ul style="list-style-type: none"> →国指定史跡「浦添城跡」の外郭南地区と呼ばれるエリアで範囲確認調査を実施した。 →試掘トレンチの南端で調査区を横断する形で城壁の外面を確認した。 →これまでの調査で確認した内郭の城壁が更に西へ続くことが明らかになる。 →確認した城壁は琉球石灰岩岩盤の裾部分に巡らされる。 →城壁を構成する切石は最大4段の布積みで、縦目地が通る箇所が見受けられる。 →切石にみられる特徴はこれまでに確認した外郭の城壁と同様で、同じ時期に構築されたものとみられる。 →切石の裏側には人頭大の裏込め石が詰められるが、城壁の内面(うちづら)は確認出来なかった。 →内郭の城壁は今も地面の下に残っている可能性が高い。 →市ホームページ「浦添グスク発掘通信」にて発掘調査成果を周知した。 <p>(2) 発掘調査報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> →平成29年度～令和2年度の浦添城跡遺構確認調査について発掘調査報告書を刊行した。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○城壁がトレンチの南端でみづかり立面図を作成することができなかったため、今後実施する必要がある。 ○浦添城跡の範囲確認を行う際は国庫補助事業で実施している「史跡浦添城跡保存整備事業」と足並みをそろえる必要がある。 				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度は市指定史跡「沢岬イリヌカー」の範囲確認調査を実施予定。 ○浦添城跡の全容を解明するため、令和7年度以降も引き続き発掘調査を継続する。 ○発掘調査成果を周知・活用し、地域史や文化財保護等の普及啓発を促進する。 				
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○国指定史跡「浦添城跡」復元準備に向けて令和5年度は、今から600年ほど前の城壁を発見した。この城壁は、グスク内側の廓の一部で、以前発見した城壁に連結するものと考えられ、これまでの発掘が点から線へと結ばれていく画期的な発掘であります。 ○発掘調査成果を「浦添グスク発掘通信」に掲載し発行したことは、発掘の成果を市民・県民に周知を図ることは今後も実施してほしいし、市民も期待しています。 ○平成29年度から令和2年度までの発掘調査報告書を作成したことは評価に値するものです。 ○トレンチの両端で見つかった城壁の立面図作成は、今後実施していただきたい。 ○今後とも浦添城跡の発掘調査については、国・県と調整を行い、発掘を進めていただきたい。市民は浦添城内・外の石積出現を期待しております。 ○地域の文化財を整備・保護し、地域住民にその由来等を知らせることは大変重要です。住民は、地域を知ることによって愛着を感じ、誇りを持つことができると思慮します。各年度ごとに地域の文化財整備・保護に力を注いでいただきたいと思います。 				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	6	事業名	美術館運営事業		
担当課	文化財課(美術館)		有識者	古波蔵 豊	
事業概要	美術館の事業運営を円滑に行うため、事務や美術館協議会開催等を行う。収蔵品を活用した常設展・企画展及び講座等を開催する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>常設展:令和5年度は3回の展示替えを実施した。 第1期常設展「おいしい漆器」(6月13日~9月24日) 第2期常設展「オマージュ琉球漆器」(9月30日~1月28日) 第3期常設展「デコレ!堆錦」(2月3日~5月26日) また、各期に関連講座などを開催。毎週日曜日には、学芸員によるギャラリートーク(解説付きで展示室を案内)を実施した。</p> <p>企画展:「新収蔵品展」(観覧者354人)、「琉球八景展」(1,303人)、「戦がやってきたー沖縄戦版画集ー」版画展(487人)など毎年恒例の企画展を開催。更に1月1日の能登半島地震を受け、令和6年能登半島地震輪島市支援「漆器の里石川県輪島市と沖縄の絆」展を急遽開催(355人)し、義援金の募金も行った。 令和5年度より運営に加わった指定管理者が、「実習教室発表展」(368人)、「なつかしの日本の郷土玩具展」(1,384人)などを開催。令和5年度のみ共催展として「かみがみの森展(OTV主催)」(27,501人)などが開催された。</p> <p>常設展観覧者数7,257人。総来館者数は38,994人 ※昨年度の常設展観覧者数5,489人、総来館者数47,138人</p>				
課題	<p>○年度前半に企画展示があまり開催されていなかったことなどもあり、総来館者数は8,144人減となっている。</p> <p>○常設展がマンネリにならないよう新たな寄贈などによる作品の充実が必要。一方収蔵庫が手狭になりつつある。</p>				
今後の方向	<p>○指定管理者と協力し、展示室貸出しのPR強化を行うなど、1年を通して切れ目なく展覧会が開催されることで、来館者増を図る。</p> <p>○講演会、体験教室など様々な催事を計画し、美術館利用の促進を図る。</p> <p>○インターネットや新聞、ラジオなど効果的な広報を実施してもらう(指定管理者担当)ことで、美術館利用増を図る。</p> <p>○寄贈寄託を含めた収蔵品の整理を行うとともに、新たな棚を設置し収蔵庫の収納量を向上させる。</p>				
有識者の意見	<p>○市民・県民への美術館の色々な取り組みを実施していることは、マスコミ及び市の広報等を活用しながら努力していることがよく理解できますし、評価します。</p> <p>○「戦がやってきた沖縄戦版画集」版画展や、1月1日の能登半島地震を受けて令和6年能登半島地震輪島市支援「漆器の里石川県輪島市と沖縄の絆」展を急遽開催し義援金等の募金も行ったことは、評価に値します。今後とも緊急な取り組みにも対応できるような体制づくりを頑張っていたきたいと思います。</p> <p>○浦添ようどれ(西室)の中で発見された、古の漆器の破片等を展示し歴史と漆の催事を実施したことは、浦添の歴史を理解する意味でも素晴らしい展示だと思慮します。</p> <p>○指定管理者と連携し、ツアー会社への呼びかけ等を実施し、入館者への対応を行っていることは入館者を待つことから積極的に来館者を呼び込む新たな試みは評価できます。</p> <p>○指定管理者と連携し、他団体との共催等を実現できたことは、大きな成果です。今後とも開催に向けて努力をお願いいたします。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	7	事業名	学力向上対策事業		
担当課	学校教育課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。</p> <p>(1)『学力向上推進委員会設置要綱』を基に、学力向上推進委員会・専門部会の開催。</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各こども園、各小中学校、家庭・地域関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCAサイクルを意識した取組。</p> <p>(3)中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受験生徒へ検定料の半額補助。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 学力向上推進委員会・専門部会の開催 → 学力向上推進委員会：(R5 実績:2回 R4 実績:2回 R3 実績:0回) 専門部会：(R5 実績:1回 R4 実績:0回 R3 実績:0回)</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』作成・配布 → R5 実績(80部) R4 実績(120部) R3 実績(120部)</p> <p>(3)各種検定料の半額補助 → R5 実績:745人(英検:308人、漢検:353人、数検:84人) R4 実績:745人(英検:364人、漢検:297人、数検:84人) R3 実績:918人(英検:387人、漢検:363人、数検:168人)</p> <p>○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会設置校9校、準備会を7校に設置し学校・家庭・地域の連携・協働のさらなる充実に努めることができた。</p>				
課題	<p>○学力向上推進に係る重点項目等を各学校(園)に対し明確に示してきたが、さらなる周知が必要である</p> <p>○『実践報告書』の作成方法や内容について、見直しを図る必要がある。</p> <p>○各種検定料半額補助の実績が教科により減となっているものがある。</p> <p>○学力向上推進の取組とR6年度全校設置となる学校運営協議会との連携・協働の在り方。</p>				
今後の方向	<p>○各種会議及び研修の確実な実施により、各学校(園)における実践的かつ機能的な取組の充実に努める。</p> <p>○『実践報告書』が、他の学校(園)の参考となるよう見直しを図り、その内容を充実させる。</p> <p>○各種検定料の半額補助について、各中学校や生徒・保護者に対し、尚一層の周知に努める。</p> <p>○各学校の学力向上推進の取組充実と学校運営協議会との連携・協働について助言を行う。</p>				
有識者の意見	<p>○コロナ禍の影響で受験者数が減少していると思われていた各種検定(英検、漢検、数検)の半額補助者数だが、全体数として減少傾向(漢検は前年度より増加)が続いている。高い検定料が要因なのか、その原因について各学校への聞き取り等、調査が必要である。児童生徒にとって検定に合格した実績が喜びや自信となり、自己肯定感の獲得へつながる等、多方面に好影響を及ぼすと思われることから、事業の継続は必要である。できれば補助額の増額ができるといい。</p> <p>その反面、特に中学校での検定自体が長年、申し込み申請や検定料の取りまとめ、検定当日の運営等に関して、教職員の負担を伴って行なわれてきている実態がある。ぜひ教職員の負担軽減を図りつつ、より効果的な検定実施に向けた改善策についても行政の立場から検討し、実施していただきたい。</p> <p>○自校(園)の実態に合わせて工夫し、こども園では教育・保育の改善につなげる、小中学校では「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に活用することを目的として作成した「浦添市学力向上推進実践報告書」の発行を評価したい。しかし、他校(園)の優れた良い実践が集約されている報告書だが、その後の活用については課題が残ると感じる。今後の方向にも記載があるように、内容の充実と併せて、全校(園)がよい実践を自校で共有できるシステムづくりも必要と考える。</p> <p>○コロナも収束し、学力向上推進委員会や専門部会がコロナ禍前の回数で開催できたことは喜ばしいことである。浦添市の推進計画における重点項目に関して各校(園)へ周知徹底を図りながら、コロナ禍において各学校が苦慮しながらも工夫を加えながら行ってきた実践を各校(園)が共有し、さらに進んだ教育活動が実践・展開されることにより、児童生徒のさらなる学力向上が期待できる。</p>				

○段階的な準備期間を設けて R6年度から全校設置となった「学校運営協議会」の活動を軌道に乗せ、今まで以上に学校と家庭、地域、行政が連携した教育活動を展開することが幼児児童生徒の学力向上の推進につながっていくだろう。

ただし、あくまでも学力向上の中心となるのは学校であり、教職員である。先生方が限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、授業実践や授業準備、研修の時間や児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、より質の高い教育が実践できるよう「浦添市立学校業務改善推進プラン」をさらに推進していくこともお願いしたい。

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	8	事業名	外国語指導事業		
担当課	学校教育課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>市立小中学生に対し、英語指導助手(AET)を活用した外国語活動・外国語学習を行う。</p> <p>(1)小学校では、学級担任や英語専科教師とのチーム ティーチングにより音声を重視した英語の授業を推進する。</p> <p>(2)中学校では、外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際化に対応できる視野の広い生徒の育成を図る。</p> <p>(3)英語指導助手(AET)を活用して、全ての市立小中学校において異文化交流会を実施する。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1)AET を全小中学校に配置し、AET を活用した授業や交流を行うことにより、児童生徒の異文化や英語に対する興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の育成に効果的である。 (R5 浦添市外国語意識調査結果・R5全国学力・学習状況調査結果質問紙結果より)</p> <p>①「英語が好き」小学校高学年72%(全国69%)、中学校63%(全国51%)</p> <p>②「英語の勉強は大切だ」小学校高学年94.5%(全国91.3%)、中学校92%(全国88%)</p> <p>(2)全小中学校で異文化交流会を実施することができた。 「自校の国際理解教育目標にせまることができた。」異文化交流会担当教師回答100%</p> <p>(3)「中学生異文化交流及び国際理解学習会」(台風で中止)の代替プログラムとして、中学校4校で、AET2名と代表生徒による国際交流学習会を実施することができた。</p>				
課題	<p>(1)スキル面の課題 (R5 実施県学力到達度調査)</p> <p>①県学力到達度調査(1年生) 市平均正答率 35.0%(県37.9%、地区38.9%)</p> <p>②県学力到達度調査(2年生) 市平均正答率 49.5%(県49.0%、地区51.5%)</p> <p>(2)情意面の課題(R5実施浦添市外国語意識調査結果より)</p> <p>「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。」</p> <p>小学校高学年 54%(全国54%) 中学校 46%(全国37%)</p> <p>(3)小中連携を通した外国語指導</p>				
今後の方向	<p>(1)小中ともに、効果的な AET とのチーム ティーチングによるきめ細かな学習指導を行うとともに、「言語活動」を通して英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>(2)国際理解教育やキャリア教育における外部資源の活用という観点から、JICA 沖縄と連携した取組の充実に努める。</p> <p>(3)小中連携の公開授業及び授業研究会を充実する。</p> <p>(4)海外短期留学派遣事業の代替プログラムとして、外国人英語指導助手(AET)を活用して、「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を2日間の日程で計画している。</p>				
有識者の意見	<p>○浦添市外国語意識調査で「英語が好き」と答えた児童生徒が、小学校高学年と中学校ともに全国数値(全国学力学習状況調査質問紙調査結果)を上回っている。さらに、「英語の勉強は大切だ」と答えた児童生徒が、昨年度に引き続き小学校高学年と中学校で95%前後を維持しているのは、本市が長年にわたり継続して取り組んできた特色ある本事業の成果だといえる。</p> <p>○全ての小中学校で AET を活用して異文化交流が実施できたことも大きな成果である。本市が全小中学校、全ての学年において効果的にチームティーチングができるよう、全ての小中学校に AET を配置していることは、他市町村にない、本市の誇れる特長の1つといえる。</p> <p>○県学力到達度調査で前年度に続き、中1と中2が地区の正答率に届いていない現状から、英語の勉強に対する意識は高いがスキル面が若干弱いと言えるので、その課題を分析し、各学校での授業改善につなげていく必要がある。</p> <p>情意面の課題として「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」の回答率は、小学校高学年で全国を上回っているが、中学校と併せて低さが挙げられる。</p> <p>外国語の指導以外にも、教科横断的な学習、国際理解教育、キャリア教育の充実が大切と思われる。</p> <p>○財政確保の厳しさから「海外短期留学派遣事業」の代替プログラムとして、身近にいる外国人英語指導助手(AET)を授業以外でも積極的に活用し、「中学生異文化交流及び国際理解学習会」により多くの中学生を参加させ、内容の充実を図ることは大切だと思うので、ぜひ推進してもらいたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	9	事業名	こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究所)		有識者	平良 亮	
事業概要	市立小中学校3校(仲西小学校、浦城小学校、神森中学校)へ教育の情報化に向けた電子黒板セット(電子黒板+PC)の ICT 機器整備を実施する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) ICT 機器(電子黒板等)の機能強化 第2期導入校(3校)のへ電子黒板入れ替えによる機能強化を実施した。また、これまで使用していた70型電子黒板を、各学校の特別教室や特別支援教室等、設置が必要な教室の割合で分配した。これにより、市内全小中学校で ICT 機器を効果的に活用したこどもが主体的に学習するための環境がより整った。</p> <p>(2) 「わかる授業」の構築によるこどもの主体的な学習の充実 ICT 機器の整備・機能強化により、「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小中学校ともに前年度同様96%となった。また、自分の考えをまとめることができる児童生徒は小学校で53%、中学校で67%とどちらも前年度より増加した。学年が上がるに従って ICT を活用した主体的な学習の割合が多くなっている。</p>				
課題	<p>○第3期以降に導入した機器の機能不足への対応</p> <p>○普通教室以外の特別教室や特別支援教室への更なる機能強化</p>				
今後の方向	<p>○第3期以降に導入した機器の計画的・継続的な機能強化による一人一台端末との連携した活用を進め、児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりの一層の充実を目指す。</p> <p>○特別教室や特別支援教室への ICT 機器整備機能強化による、誰一人取り残すことない「令和の日本型教育」の構築を目指した ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。</p>				
有識者の意見	<p>○本事業を活用し、第2期校3校(仲西小学校、浦城小学校、神森中学校)への電子黒板の入れ替えと併せ、これまで使用していた70型電子黒板を各学校の特別教室や特別支援教室等、設置が必要な教室へ分配するなど、これまで以上に ICT 機器を活用できる環境を広げたことを評価したい。</p> <p>○本市独自の全小中学校対象のアンケートで「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小中学校ともに前年度同様96%と高い数値となっている。「自分の考えをまとめることができる」と答えた児童生徒は小学校で53%、中学校で67%とどちらも前年度より少し増加している。これは ICT 機器の整備・機能強化により、わかる授業の構築と主体的な学びができつつあると評価できる。継続した事業推進により、児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりがさらに期待できる。</p> <p>○ICT 機器の機能進化は日進月歩の世界である。全小中学校普通教室設置の機器設置年度による学校間格差が出ないよう、さらには特別教室や特別支援教室に対しても引き続き機器整備機能強化を計画的に行ってほしい。その対応が「ICT 機器を活用したわかる授業」の構築へとつながり、教師の指導力向上と併せて、児童生徒にとって「授業がわかりやすい」「自分でまとめることができる」等、主体的な学習の充実につなげていくことができることから、引き続き予算の確保に尽力いただき、本事業を推進していただいたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	10	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業		
担当課	こども青少年課		有識者	平良 亮	
事業概要	<p>沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や遊び非行・ひきこもり傾向等の様々な課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。[教育相談総件数 6,901 件 定期相談生 133人]</p> <p>(2) 適応指導教室「いまあじ」では、小集団での体験・学習活動を通して集団生活への適応力向上をさせ、学校復帰に向けた支援を行った。[入級者2人 体験通級・交流生 27 人]</p> <p>(3) 自立支援室「ひなた」では、遊び非行・ひきこもり傾向の児童生徒を対象に、日中の居場所づくりや自立に向けた支援を行った。[支援件数 1,453 件 児童生徒数 23 人]</p> <p>(4) 全市立小中学校へ教育相談支援員を配置し、課題を抱える児童生徒の相談業務や登校支援、児童生徒に関する悩みを持つ保護者や学校職員の相談活動を実施。</p> <p>(5) 全市立中学校へ校内自立支援員を配置し、登校するが教室に入室できない生徒に対して、校内自立支援室で児童生徒の個々の状況に応じた学習を中心とする支援を実施。</p> <p>※教育相談室「くくむい」、適応指導教室「いまあじ」、自立支援室「ひなた」で連携し、困難なケースに対して丁寧な支援ができたことは大きな成果である。</p>				
課題	<p>○不登校児童生徒数は、全国的に増加傾向にあり、昨年度まで毎年過去最多を更新する状況が続いている。令和5年度、本市においても初めて不登校児童生徒数が600人を超え過去最多となった。特に小学校で不登校が増加しており、未然防止・早期対応が急務となっている。</p> <p>○年間 30 日以上欠席した長期欠席生の増加に伴い、教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加している。相談件数の増加により臨床心理士、教育相談員の負担が増え、業務が逼迫したことから 10 月から新規定期相談の受け入れを休止せざるをえなかった。</p>				
今後の方向	<p>○教育相談室「くくむい」への相談件数増加に伴い、臨床心理相談員・教育相談員の負担を軽減するため、小集団活動の強化を図り、社会適応・学校復帰を目指す。</p> <p>○不登校児童生徒の相談・指導等を受ける割合を増加し効果的な支援につなげるためにも、アセスメントシートを有効的に活用し、関係機関との連携強化を図る。(関係機関に90%つなぐ)</p> <p>○臨床心理士による初回面談で、相談者の訴えを明らかにするインテークを「ひなた」でも実施。該当する児童生徒の世帯背景をおさえ、適切な支援方針を検討する。</p> <p>○相談者を客観的に分析するアセスメントとして知能検査や社会生活能力検査を実施する。</p> <p>○中学校の生徒指導委員会・生徒支援委員会へ参加し、情報提供・情報共有を積極的に行い、お互いの支援につなげる(小学校は要望に応じて)。必要に応じて臨床心理士による適切な助言を行う。</p> <p>○令和 6 年度、学校における教育相談支援員及び校内自立支援員の増員を目指す。</p>				
有識者の意見	<p>○教育相談室や適応指導教室、自立支援室の設置、全小中学校への教育相談支援員の配置、中学校への校内自立支援員の配置と、他市町村に誇れる手厚い支援体制で課題を抱える児童生徒支援が行われている。浦添市教育振興基本計画の骨子「すべての幼児児童生徒が等しく教育を受けるための支援」を達成するために、本市の本気度が伝わる事業であり大いに評価できる。</p> <p>○相談件数や支援回数の増加、不登校児童生徒数が昨年度の500人超えからさらに増え600人越えとなり、年々厳しい状況に変わりはないが、この状況は本市だけに限ったことではなく、本県を含め全国的な傾向である。相談件数の多さは、児童生徒一人一人を大切に、学校や関係機関が連携して困りごとへの丁寧な相談体制が構築されている裏返しといえるのではないかと。</p> <p>○一方で、抱える件数の多さと解決が困難なケースの増加が臨床心理士や教育相談員の負担増等、業務が逼迫し、10月からの新規定期相談の受け入れを休止せざるをえなくなったことは学校現場にとっても残念な状況であった。</p> <p>今後、臨床心理士や教育相談員等の負担軽減を図る取組と併せて、「今後の方向」にある、学校における教育相談支援員及び校内自立支援員の増員の実現を強く望む。</p> <p>教育相談支援員に関しては、増員が厳しければ、一度削減された勤務時間数の増をお願いしたい。</p>				

- 学校においては未然防止の視点から「魅力ある学級・学校づくり」の推進、初期対応の視点から「組織的な早期発見・早期対応」体制の確立、自立支援の視点から「学校外の施設と連携した支援」体制づくりが重要である。
特に小学校で不登校が増加しており、未然防止・早期対応に向けた支援が急務となっている。
ぜひ行政側の積極的な指導助言のもと、よりよい体制の確立に向けた取り組みを推進していただきたい。
- 本事業を継続し、課題を抱える児童生徒に、こども青少年課と学校、家庭、地域、関係機関が連携を深め粘り強い丁寧な支援が必要である。全小中学校に設置された「学校運営協議会」で幼児児童生徒の現状を共有し、コミュニティー全体で取り組む必要性も痛感している。

教育委員会点検・評価書(令和5年度実施事業)

No	11	事業名	学校給食費補助金交付事業		
担当課	学校給食調理場	有識者	平良 亮		
事業概要	物価高騰の影響で市内小中学校児童生徒の保護者負担軽減を図るため、8ヶ月の学校給食費の無償化 287,904 千円と物価高騰対策費として 32,527 千円を活用し学校給食食材を安定的に確保する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>○浦添市学校給食保護者負担軽減 浦添市立小中学校に通う児童生徒(児童 7,546 人・生徒 3,739 人)給食費の令和5年7月から3月までの8ヶ月間(小:4,200 円 中:4,600円)の給食費を補助した。(財源:物価高騰対応地方創生臨時交付金)</p> <p>○浦添市学校給食物価高騰対策 現在の小中学生学校給食費に一人当たり 275 円を上乗せして学校給食食材を確保した。</p>				
課題	○物価高騰による給食食材費への影響でできるだけ保護者の負担にならないよう、また、学校給食の栄養価、質量の低下とならないようにする。				
今後の方向	<p>○子育て世代が抱えている保護者の経済的負担を軽減する。</p> <p>○環境整備は極めて重要であると認識し、今後財源確保に努める。</p>				
有識者の意見	<p>○長引く物価高の影響を受け「生活が苦しい」と感じている子育て世帯がますます増えている中、支援を受けている保護者にとっては大変ありがたい事業であり、安心して子育てができる環境づくりにもつながる事業として、大変評価できる。</p> <p>○学校給食は「食育指導」の中核をなすものであると同時に、「知育・徳育・体育」など「生きる力」の基本となるべき大切なものでもあり、栄養摂取を含め果たす役割は大きい。</p> <p>○ある調査によると、経済的な困難を抱える家庭では、学校給食費を含む教育費の支出が大きな負担となっている。さらに経済的負担によるストレスが子どもの学校生活や、家庭内の人間関係にも影響していることが明らかになっている。しかし、その経済格差が、成長期にあるこどもの食事内容や栄養摂取に悪影響を与えてしまう状況だけは避けたい。すべての児童生徒が平等に、栄養バランスのとれた学校給食を食べることができ、経済的な困難から健康や学習機会が損なわれないようにあってほしいことを願う。</p> <p>○未だ貧困率が全国ワーストと言われる本県であるが、コロナ禍以上に生活状況が厳しくなっている。そのような中、経済的に困窮している保護者に対して本事業を通して支援していることは価値あることである。</p> <p>○全国的に学校給食費無償化の流れが加速している中、全国や本県のどこの自治体においてもその財源確保が大きな課題となっている。本市も同様な課題があるが、学校給食が成長期にある児童生徒に対し栄養バランスのとれた食事を提供し、児童生徒の健康増進、体位の向上及び心身の発達を図ることを目的としていることから継続は重要であり、「食育の推進」という視点からも本事業の継続を強く望む。</p>				

資料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数17回(定例会12回、臨時会5回)

議案50件、報告23件、指名2件

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例会 定例1	R5.4.7	第1号	原案どおり承認	文化財の指定について
		第2号	原案どおり承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則の一部を改正する規則
		第3号	原案どおり承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
定例会 定例2	R5.5.8	第4号	原案どおり了承	第205回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		報告第1号		「浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」策定後の取組報告について
		報告第2号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		その他(報告)		浦添市立小中学校におけるハラスメントの防止及び実態調査について
臨時1	R5.5.25	指名		教育長職務代理者の指名について
定例会 定例3	R5.6.7	指名		教育長職務代理者の指名について
		第5号	同意	教育委員会委員の辞職の同意について
		報告第3号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		その他(報告)		令和5年度第68回沖縄県市町村教育委員会連合会総会並びに研修会(教育長・教育委員出張報告)
定例会 定例4	R5.7.7	第6号	原案どおり了承	教育委員会職員の人事について
		報告第4号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告第5号		令和5年度浦添市教育委員会点検・評価報告について
		その他(報告)		令和5年度浦添市・泉州市小中学生交流事業報告
		その他(報告)		神森小学校水泳授業外部委託に係るアンケート調査の結果等について
定例会 定例5	R5.8.4	第7号	原案どおり了承	第206回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第8号	【取下げ】	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第9号	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則
		第10号	原案どおり承認	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について
		第11号	原案どおり承認	令和6年度使用中学校教科用図書の採択について
		第12号	原案どおり承認	令和6年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
		報告第6号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
		報告第7号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例6	R5.8.31	第13号	【取下げ】	令和5年度浦添市教育委員会表彰(随時)被表彰者の決定について
		第14号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告第8号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例7	R5.9.28	第15号	原案どおり承認	浦添市立学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令
		第16号	原案どおり承認	浦添市教育委員会教育相談員等設置規程の一部を改正する訓令
		第17号	原案どおり承認	教育長の営利企業等の従事について
		報告第9号		専決事項の報告について(県費負担教職員)

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例会 定例8	R5.11.2	第18号	原案どおり 了承	第207回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第19号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会公印規則の一部を改正する規則
		第20号	原案どおり 承認	浦添市美味しい給食推進事業補助金交付規程
		第21号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費保護者負担軽減補助金交付規程
		第22号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第10号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例9	R5.11.27	第23号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		第24号	原案どおり 承認	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則及び浦添市立中央公民館運営審議会規則の一部を改正する規則
		第25号	原案どおり 承認	浦添市立中央公民館の館長の勤務条件等に関する規程の一部を改正する訓令
		第26号	原案どおり 承認	未来へ翔たく太陽っ子育成事業補助金交付規程の一部を改正する訓令
		報告 第11号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第12号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第13号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
臨時2	R5.12.15	報告 第14号		専決処分の報告について
定例会 定例10	R6.1.5	第27号	原案どおり 承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則
		第28号	原案どおり 承認	令和5年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
		第29号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		第30号	原案どおり 承認	令和5年度公立学校管理職途中人事の内申について
		報告 第15号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第16号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例11	R6.2.2	第31号	原案どおり 了承	第208回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第32号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費給付金交付規程の一部を改正する告示
		第33号	原案どおり 承認	浦添市美味しい給食推進事業補助金交付規程の一部を改正する告示
		第34号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費保護者負担軽減補助金交付規程の一部を改正する告示
		第35号	原案どおり 承認	令和5年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の追加決定について
		報告 第17号		専決処分について
		報告 第18号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時3	R6.2.19	第36号	原案どおり 承認	令和6年度公立学校管理職等の人事異動の内申について
		第37号	原案どおり 承認	指導主事の派遣に関する内申について
定例会 定例12	R6.2.28	第38号	原案どおり 承認	令和6年度公立学校教職員等の定期人事異動の内申について
		第39号	原案どおり 承認	公立学校事務職員の昇任内申について
		第40号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第19号		専決事項の報告について(県費負担教職員)

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
臨時4	R6.3.15	第41号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について(退職)
		第42号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について
		第43号	原案どおり承認	教育機関の長の任用について
		報告 第20号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第21号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時5	R6.3.29	第44号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について(追加発令)
		第45号	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について(発令変更)
		第46号	原案どおり承認	浦添市教育委員会職員職名に関する規則の一部を改正する規則
		第47号	原案どおり承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
		第48号	原案どおり承認	浦添市教育委員会職員の人事評価制度実施規程の一部を改正する訓令
		第49号	原案どおり承認	浦添市学校給食費保護者負担軽減補助金交付規程の一部改正する告示
		第50号	原案どおり承認	浦添市学校給食物価高騰対策補助金交付規程
		報告 第22号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第23号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて

教育委員の活動状況
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

日付	内容
4月3日(月)	令和5年度定期人事異動辞令交付式
4月7日(金)	教育委員会定例会(4月)
4月10日(月)	当山小学校入学式
	仲西小学校入学式
	浦添小学校入学式
	内間小学校入学式
	浦西中学校入学式
	浦添中学校入学式
	仲西中学校入学式
港川中学校入学式	
4月27日(木)	令和5年度 市青少年健全育成市民会議 定期総会
5月8日(月)	教育委員会定例会(5月)
5月9日(火)	教科用図書那覇採択地区協議会
5月11日(木)	第68回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
5月12日(金)	
5月25日(木)	第1回教育委員会臨時会
5月29日(月)	令和5年度 浦添市育英会第1回評議員会
6月6日(火)	6月市議会招集日(職務代理者として出席)
6月7日(水)	教育長辞令交付式
	教育委員会定例会(6月)
6月12日(月)	令和5年度「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」
7月7日(金)	教育委員会定例会(7月)
7月14日(金)	市内の国・県・市指定文化財視察
7月19日(水)	
7月21日(金)	少年を守る日・夜間街頭指導(港川中学校区)参加
7月24日(月)	教育委員辞令交付式
	教科用図書那覇採択地区協議会
7月25日(火)	教科用図書那覇採択地区協議会
7月26日(水)	
7月28日(金)	第21回 浦添市教育文化講演会
8月4日(金)	教育委員会議勉強会
	教育委員会定例会(8月)
8月19日(土)	うらそえ社会教育いきいきまつり2023
8月31日(木)	教育委員会定例会(9月)
9月28日(木)	教育委員会議勉強会
	教育委員会定例会(10月)
10月5日(木)	学校訪問 神森小学校
	教育研究所長期研究員入所式
10月10日(火)	浦添市戦没者慰霊祭
10月11日(水)	学校訪問 港川中学校
10月12日(木)	学校訪問 浦西中学校
10月15日(日)	運動会参観 牧港小学校
10月16日(月)	学校訪問 宮城小学校
10月24日(火)	学校訪問 浦添中学校
10月25日(水)	学校訪問 仲西中学校
10月27日(金)	沖縄県市町村教育委員会連合会研修会
	那覇地区教育委員会会議
10月29日(日)	てだこまつり

日付	内容
10月30日(月)	学校訪問 神森中学校 教育委員会議勉強会
10月31日(火)	学校訪問 内間小学校
11月2日(木)	教育委員会定例会(11月)
11月6日(月)	学校訪問 浦添小学校
11月13日(月)	学校訪問 沢岷小学校
11月14日(火)	学校訪問 港川小学校
11月16日(木)	てだこ学園大学創立35年記念式典祝賀会
11月20日(月)	学校訪問 前田小学校
11月21日(火)	学校訪問 当山小学校
11月24日(金)	学校訪問 牧港小学校
11月27日(月)	教育委員会議勉強会 教育委員会定例会(12月)
11月29日(水)	学校訪問 浦城小学校
11月30日(木)	学校訪問 仲西小学校
12月15日(金)	第2回教育委員会臨時会
12月16日(土)	浦添市こども文化連盟 太陽樹ミュージカル尚寧王
12月25日(月)	教育委員会議勉強会
1月5日(金)	教育委員会定例会(1月) 浦添市新春祝賀会
1月6日(土)	浦添市消防出初式
1月7日(日)	浦添市はたちの集い
1月12日(金)	市町村教育委員会県連理事会
1月24日(水)	県教育委員会研修会(オンライン参加)
1月26日(金)	キンザー平和資料館見学 浦添市てだこ学園大学院意見発表会
1月29日(月)	教育委員会議勉強会
2月2日(金)	教育委員会定例会(2月)
2月10日(土)	教育委員会表彰式
2月19日(月)	第3回教育委員会臨時会議
2月22日(木)	てだこ学園大学院卒業式
2月25日(日)	2023うらそえYA文学賞表彰式
2月28日(水)	教育委員会定例会(3月)
3月9日(土)	港川中学校卒業式 浦西中学校卒業式
3月15日(金)	第4回教育委員会臨時会議
3月21日(木)	牧港小学校卒業式 浦城小学校卒業式 内間小学校卒業式 前田小学校卒業式
3月26日(火)	教育研究所 長期教育研究員成果報告会・修了式
3月29日(金)	教育委員会勉強会 第5回教育委員会臨時会議

教育長の活動状況
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

日付	内容
4月3日(月)	令和5年度定期人事異動辞令交付式
	拡大庁議
	事務調整
4月4日(火)	来客
	令和5年度 第1回浦添市初任者研修会
	学校訪問
4月5日(水)	ランドセルカバー贈呈式
	業務運営会議
	学校訪問
4月6日(木)	学校訪問
4月7日(金)	教育委員会定例会(4月)
	新教育委員辞令交付
4月10日(月)	前田小学校入学式
	神森中学校入学式
4月11日(火)	第207回浦添市議会臨時会
4月12日(水)	来客
4月13日(木)	令和5年度小中連携担当者研修会
	来客
	令和5年度中部南保護区保護司会浦添支部定期総会
4月14日(金)	カーミーゼーの海で遊び隊様より新入生への入学祝いパンフレット寄贈式
4月17日(月)	政策会議
	第53回新型コロナウイルス感染症対策会議
	令和5年度第1回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会
4月18日(火)	令和5年度 浦添市こいのぼり掲揚式
4月19日(水)	来客
4月20日(木)	令和5年度第1回校長連絡協議会
4月21日(金)	令和5年度「浦添市婦人連合会」「浦添市交通安全母の会」定期総会
4月25日(火)	令和5年度浦添市民生委員・児童委員連絡協議会定期総会
4月27日(木)	令和5年度第1回教頭等連絡協議会
	浦添市てだこ学園役員 表敬訪問
	事務調整
	臨時庁議
	図書館事業報告
	浦添市青少年健全育成市民会議 第37回定期総会
4月28日(金)	浦添市交通安全推進協議会総会
	暴力団壊滅浦添市民対策会議
5月2日(火)	副市長就任式
	表敬訪問
5月8日(月)	教育委員会定例会(5月)
5月9日(火)	令和5年度第1回教科用図書那覇採択地区協議会
	令和5年度第1回市町村教育委員会教育長連絡協議会
5月10日(水)	業務運営会議
	令和5年度浦添市育英会第1回理事会
5月11日(木)	第68回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月12日(金)	第68回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会
5月15日(月)	教育委員会の点検・評価事業有識者委嘱状交付式
	表敬訪問
	県中学校体育連盟表敬訪問

日付	内容
5月16日(火)	事務調整 事務調整 沖縄県中学校文化連盟表敬訪問 来客
5月17日(水)	第73回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会帯広大会
5月18日(木)	第73回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会帯広大会
5月19日(金)	第73回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会帯広大会
5月20日(土)	第73回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会帯広大会
5月21日(日)	第51回浦添市ママさんバレーボール大会 第43回浦添市子連定期総会及び顕彰事業表彰式、表彰祝賀会
5月22日(月)	事務調整 庁議 評価者(当初)面談
5月23日(火)	事務調整 表敬訪問 評価者(当初)面談
5月24日(水)	評価者(当初)面談 第1回浦添市教育支援委員辞令・委嘱状交付式 てだこ教友会親睦会 第1回学力向上推進委員会
5月25日(木)	育英会寄附金贈呈式 教育委員会臨時会議
5月26日(金)	令和5年度第1回浦添市情報教育推進委員会 租税教育推進協議会定期総会 令和5年度浦添市PTA連合会定期総会
5月29日(月)	臨時庁議 事務調整 令和5年度浦添市育英会評議員会 沖縄県教育委員会・市町村教育委員会教育長連絡会議(ZOOM)
5月30日(火)	當間正和教育長 退職辞令交付式 第28回同窓会定期総会(浦添市てだこ学園大学院)
6月7日(水)	銘苺健新教育長 辞令交付式 教育委員会定例会(6月) 来客
6月8日(木)	事務調整 育英会寄附金贈呈式 事務調整
6月9日(金)	事務調整 議会勉強会
6月12日(月)	令和5年度「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」 広報用写真撮影 臨時庁議 事務調整
6月13日(火)	沖縄県公立小中学校事務職員協会表敬訪問 那覇地区退職校長会表敬訪問 表敬訪問 来客
6月15日(木)	第205回浦添市議会定例会
6月16日(金)	第205回浦添市議会定例会
6月19日(月)	第205回浦添市議会定例会
6月20日(火)	第205回浦添市議会定例会

日付	内容
6月21日(水)	第205回浦添市議会定例会
6月22日(木)	第205回浦添市議会定例会
6月27日(火)	令和5年度浦添市学力向上推進専門部委員への委嘱状交付及び専門部会
6月29日(木)	第205回浦添市議会定例会
6月30日(金)	第205回浦添市議会定例会
	表敬訪問
7月3日(月)	政策会議
	泉州市交流事業報告
	浦添市美術館友の会表敬訪問
7月4日(火)	臨時庁議
	第73回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ等伝達式
	浦添市PTA連合会役員表敬訪問
7月5日(水)	業務運営会議
7月6日(木)	校長連絡協議会
	事務調整
7月7日(金)	教育委員会定例会(7月)
	第36回「浦添市少年の主張大会」
7月11日(火)	仙台育英学園沖縄高等学校表敬訪問
7月13日(木)	愛の声かけ運動
	来客
	来客
7月14日(金)	文化財視察
7月18日(火)	令和5年度浦添市青少年万引き防止対策、サイバー犯罪防止対策会議
	北那覇税務署長表敬訪問
7月19日(水)	文化財視察
	事務調整
7月20日(木)	沖縄可否の会表敬訪問
	来客
7月21日(金)	第209回浦添市議会定例会
	教育文化講演会 教育長あいさつ撮影
7月24日(月)	令和5年度第2回教科用図書那覇採択地区協議会
7月25日(火)	令和5年度第3回教科用図書那覇採択地区協議会
7月26日(水)	令和5年度第4回教科用図書那覇採択地区協議会
	令和5年度第5回教科用図書那覇採択地区協議会
7月28日(金)	令和5年度沖縄県都市教育長協議会第1回会議
7月31日(月)	政策会議
	教育委員会勉強会
	浦添市社会福祉協議会来訪
	事務調整
8月4日(金)	教育委員会勉強会
	教育委員会定例会(8月)
	事務調整
8月7日(月)	臨時庁議
	第4回台風第6号災害対策本部会議
	事務調整
	てだこまつり実行委員会役員会
8月8日(火)	表敬訪問
8月9日(水)	日向市中学生平和交流団来訪
8月10日(木)	事務調整
8月13日(日)	「浦添グスク・ようどれ探検」出発式
	浦添市立当山小学校分離新設校説明会

日付	内容
8月14日(月)	政策会議 事務調整
8月15日(火)	事務調整 令和5年度第2回浦添市初任者研修会
8月16日(水)	沖縄県教職員組合来訪 事務調整 WRO沖縄代表来訪
8月17日(木)	事務調整 来客
8月19日(土)	うらそえ社会教育いきいきまつり2023
8月20日(日)	第34回西原大綱引き
8月21日(月)	庁議
8月28日(月)	浦添市民生委員児童委員連絡協議会役員 表敬訪問
8月29日(火)	事務調整 事務調整
8月31日(木)	教育委員会定例会(9月)
9月4日(月)	政策会議 来客 表敬訪問 前田の棒保存会 表敬訪問
9月5日(火)	臨時庁議 ライフスキル公開授業視察 浦添市社会教育委員委嘱状交付式
9月7日(木)	第206回浦添市議会定例会
9月8日(金)	少年の主張大会(那覇地区) 議会勉強会
9月9日(土)	第21回キラ星祭
9月11日(月)	政策会議 事務調整
9月12日(火)	来客 来客
9月13日(水)	第206回浦添市議会定例会
9月14日(木)	第206回浦添市議会定例会
9月15日(金)	第206回浦添市議会定例会
9月16日(土)	令和5年度第26回那覇地区PTA研修会
9月19日(火)	第206回浦添市議会定例会
9月20日(水)	第206回浦添市議会定例会
9月21日(木)	第206回浦添市議会定例会
9月22日(金)	少年の主張大会(県大会)
9月23日(土)	浦添市空手道大会
9月25日(月)	臨時庁議 来客
9月26日(火)	第3回校長連絡協議会 史跡中頭方西海道及び普天間参詣道整備委員会 来客
9月27日(水)	第206回浦添市議会定例会
9月28日(木)	教育委員会議勉強会 教育委員会定例会(10月)
9月29日(金)	教頭連絡協議会 令和5年度浦添市育英会第2回理事会

日付	内容
10月2日(月)	政策会議 令和5年度第57回沖縄県公立小中学校事務職員研究大会
10月3日(火)	事務調整
10月4日(水)	業務運営会議
10月5日(木)	学校訪問 令和5年度 長期教育研究員入所式 青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会及び暴力団壊滅浦添市民総決起大会
10月6日(金)	決算審査
10月7日(土)	令和5年度浦添市婦人連合会「第24回演芸のつどい」
10月9日(月)	「学校教育におけるシマクトゥバ指導の現状と課題」シンポジウム
10月10日(火)	第77回浦添市戦没者追悼式 寄贈式 マスコミとのティータイム
10月11日(水)	学校訪問 港川中学校
10月12日(木)	愛の声かけ運動 事務調整 学校訪問 浦西中学校
10月13日(金)	令和5年度「第48回浦添市小学校童話・お話大会」 「教育実践演習」講師派遣
10月16日(月)	臨時庁議 防災講演会 学校訪問 宮城小学校
10月18日(水)	第35回九州都市教育長協議会理事会
10月19日(木)	第35回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
10月20日(金)	第35回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
10月21日(土)	2023～2024年度ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト
10月23日(月)	政策会議 学校応援プロジェクト 令和5年度 評価者(中間)面談
10月24日(火)	学校訪問 浦添中学校 令和5年度 評価者(中間)面談
10月25日(水)	令和5年度 評価者(中間)面談 学校訪問 仲西中学校
10月26日(木)	令和5年度第6回教科用図書那覇採択地区協議会 令和5年度第2回市町村教育委員会教育長事務連絡協議会 うらおそい歴史ガイド養成講座修了式
10月27日(金)	臨時庁議 沖縄県市町村教育委員会連合会研修会 那覇地区市町村教育委員会協議会 第2回会議 第46回てだこまつり第24回(前夜祭)ひーや祭々in屋富祖
10月28日(土)	第6回「浦添市小学校区子ども会対抗ドッチビー大会」 てだこポケットフェスタ～第46回浦添てだこまつり～祈願祭 てだこポケットフェスタ～第46回浦添てだこまつり～
10月29日(日)	てだこポケットフェスタ～第46回浦添てだこまつり～
10月30日(月)	学校訪問 神森中学校 教育委員会議勉強会
10月31日(火)	学校訪問 内間小学校
11月1日(水)	事務調整 業務運営会議 来客

日付	内容
11月2日(木)	朝の読み聞かせ 教育委員会定例会(11月) 令和5年度 評価者(中間)面談 当山小学校分離新設校にかかる進捗説明会
11月3日(金)	歴史ロマン街道「尚寧王の道を訪ねる」出発式
11月6日(月)	政策会議 学校訪問 浦添小学校
11月7日(火)	校長会
11月9日(木)	令和5年度市町村教育委員会研究協議会(後期) 広島県
11月10日(金)	令和5年度市町村教育委員会研究協議会(後期) 広島県
11月11日(土)	令和5年度市町村教育委員会研究協議会(後期) 広島県
11月13日(月)	学校訪問 沢岬小学校
11月14日(火)	学校訪問 港川小学校
11月15日(水)	出前講座講師派遣
11月16日(木)	浦添市てだこ学園大学院創立35周年記念式典
11月17日(金)	税に関する表彰式
11月18日(土)	那覇地区善行児童生徒表彰式
11月20日(月)	庁議 学校訪問 前田小学校
11月21日(火)	学校訪問 当山小学校 事務調整
11月23日(木)	創立40周年記念式典(港川中学校)
11月24日(金)	学校訪問 牧港小学校
11月27日(月)	政策会議 教育委員会議勉強会 教育委員会定例会(12月)
11月29日(水)	来客
11月30日(木)	事務調整 学校訪問 仲西小学校
12月1日(金)	第207回浦添市議会定例会
12月2日(土)	令和5年度 浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12月4日(月)	議会勉強会 R5高齢者叙勲授与伝達式
12月5日(火)	事務調整
12月7日(木)	第207回浦添市議会定例会
12月8日(金)	第207回浦添市議会定例会 臨時庁議 叙勲・褒章・大臣表彰等受賞者合同祝賀会並びに懇親会
12月9日(土)	第23回全国中学校総合文化祭沖縄大会兼第29回沖縄県中学校総合文化祭 令和5年度単位PTA親睦スポーツ大会
12月11日(月)	第207回浦添市議会定例会
12月12日(火)	第207回浦添市議会定例会
12月13日(水)	第207回浦添市議会定例会 一般社団法人浦添市医師会忘年会
12月14日(木)	第207回浦添市議会定例会
12月15日(金)	第2回教育委員会臨時会 沖縄県小学校特別活動研究会役員表敬訪問
12月17日(日)	令和5年度「御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)運動」
12月18日(月)	政策会議 教育委員会表彰選考審査会

日付	内容
12月22日(金)	第207回浦添市議会定例会 令和5年度PTA活動振興功労者表彰受賞報告
12月23日(土)	第24回浦添市小中学校美術作品展表彰式
12月25日(月)	臨時部長会議 臨時庁議 教育委員会議勉強会 令和5年度浦添市育英会第3回理事会 事務調整
12月26日(火)	令和5年度 冬季講座
12月28日(木)	事務調整 拡大庁議 事務調整
1月4日(木)	国旗・県旗・市旗・レインボーフラッグ掲揚式 年始式 拡大庁議
1月5日(金)	教育委員会定例会(1月) 2024年浦添市新年祝賀会
1月6日(土)	令和6年浦添市消防出初式
1月7日(日)	令和6年浦添市はたちの集い
1月9日(火)	臨時庁議 浦添市民生委員児童委員連絡協議会新春の集い
1月10日(水)	業務運営会議
1月11日(木)	愛の声かけ運動 飛び出せ学校応援プロジェクト講師派遣
1月15日(月)	政策会議 表敬訪問(民生委員児童委員協議会)
1月16日(火)	来客
1月18日(木)	学校訪問 浦添小学校
1月19日(金)	沖縄県都市教育長協議会第2回会議
1月20日(土)	沖縄県都市教育長協議会第2回会議
1月22日(月)	政策会議
1月23日(火)	書籍「沖縄を愛するウチナ〜ンチュの夢」寄贈 第46回浦添てだこまつり実行委員会(最終)
1月24日(水)	令和5年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
1月25日(木)	株式会社ヤクルト球団関係者来訪
1月26日(金)	キャンプキンザー内資料館視察 てだこ学園大学院意見発表会
1月27日(土)	第44回沖縄県小学校特別活動研究大会那覇大会
1月28日(日)	牧港小学校創立50周年記念式典 令和5年度第40回浦添市子ども会まつり
1月29日(月)	教育委員会勉強会
1月30日(火)	令和5年度第2回浦添市学力向上推進委員会
1月31日(水)	港川小学校3年生民具体験教室
2月1日(木)	令和5年度第5回校長連絡協議会 事務調整
2月2日(金)	教育委員会定例会(2月) 事務調整
2月4日(日)	神森小学校創立60周年記念式典
2月6日(火)	令和5年度第2回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会 評価者(最終)面談

日付	内容
2月7日(水)	令和5年度第1回浦添市学校教育情報化推進委員会事前レク 事務調整 評価者(最終)面談
2月8日(木)	愛の声かけ運動 評価者(最終)面談 第3回市町村教育委員会教育長連絡協議会
2月9日(金)	教頭連絡協議会 臨時庁議 評価者(最終)面談
2月10日(土)	令和5年度 浦添市教育委員会表彰式
2月13日(火)	令和5年度第1回浦添市学校教育情報化推進委員会 「沖展」招待券贈呈式 事務調整
2月14日(水)	業務運営会議 文化財調査審議会
2月16日(金)	事務調整
2月17日(土)	令和5年度第41回浦添市PTA研究大会及び授賞式
2月19日(月)	政策会議 第3回教育委員会臨時会
2月20日(火)	史跡中頭方西海道及び普天間参詣道整備委員会
2月21日(水)	人権擁護委員の活動紹介及び市長・教育長との情報交換会
2月22日(木)	第208回浦添市議会定例会 第34回浦添市てだこ学園大学院卒業式
2月24日(土)	東京ヤクルトスワローズオープン戦
2月25日(日)	2023年うらそえYA文芸賞表彰式
2月26日(月)	政策会議 育英会寄附金贈呈式 史跡浦添城跡整備委員会
2月27日(火)	事務調整
2月28日(水)	事務調整 教育委員会定例会(3月)
2月29日(木)	第208回浦添市議会定例会
3月1日(金)	第208回浦添市議会定例会
3月4日(月)	第208回浦添市議会定例会
3月5日(火)	第208回浦添市議会定例会
3月6日(水)	第208回浦添市議会定例会
3月7日(木)	第208回浦添市議会定例会
3月9日(土)	仲西中学校卒業式 琉球交響楽団第47回定期演奏会
3月11日(月)	政策会議 JICA沖縄表敬訪問
3月12日(火)	浦添中学校1年生によるプレゼン発表会 来客 来客
3月15日(金)	第4回教育委員会臨時会
3月18日(月)	政策会議
3月19日(火)	予算審査特別委員会 浦添てだこライオンズクラブ結成40周年記念式典・祝賀会
3月21日(木)	浦城小学校卒業式
3月23日(土)	第75回「沖展」開会式
3月25日(月)	政策会議
3月26日(火)	令和5年度第52期長期教育研究員研究成果報告及び修了式

日付	内容
3月28日(木)	第208回浦添市議会定例会
3月29日(金)	拡大庁議
	令和5年度退職辞令交付式
	第5回教育委員会臨時会
3月31日(日)	沖展表彰式

点検・評価を終えて

令和6年度の「教育委員会点検・評価報告書」がまとまりました。

「教育委員の活動自己評価」については、新教育委員会制度導入に伴い、平成30年度から教育長へのチェック機能も評価項目に加え、項目ごとに評価基準を設けて行う自己評価方式を導入しました。

まず、教育委員の活動においては、コロナ禍の影響で参加を控えていた各種行事にも積極的に顔を出し、その様子や状況等を直に確認し、現場の現状を理解するよう努めました。

次に、毎月開催されている教育委員会議においては、審議の活性化と深化をめざし、事前の議案資料の読み込みや自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み、充実を図ってきました。

また、学校訪問においては、市内の全小中学校で、GIGAスクール構想に基づいたICT機器を効果的に活用したわかる授業が日常的に実践され、管理職のリーダーシップのもと、授業改善を軸にした児童生徒の学力向上への意欲を実感することができました。デジタル化の推進は教職員の労働環境改善にもつながり、ひいては学校教育の充実・発展につながると考えられます。

最後に、「教育長への委任事務評価」においては、重点施策と位置づけた事業の中から11事業を精選し、各事業主管課で4つの観点で内部評価と総合評価を行った上で、点検・評価の客観性を確保するため、有識者による外部評価を実施しました。

11事業のうち10の事業については主要事業と位置づけ、前年度から継続して評価対象とし、事業全体としては、前年度の評価を踏まえ着実に推進されていると考えられます。有識者からは、前年度の課題と有識者提言を受けて改善に取り組まれた事業、コロナ禍がきっかけで新たに創意工夫された取組等に、労いと激励と同時に、事業推進への貴重な提言をいただきました。

今後は、担当部署や関係者が、各事業の成果と課題や今後の方向性を共有し、さらに、有識者による提言を真摯に受け止めて、施策の着実な実現に向け、効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年度の「教育委員会点検・評価」に当たり、有識者として、関係資料の読み込み、担当部署や関係者への聞き取りなどに精力的に取り組まれ、大所高所からご助言・ご提言をいただきました、手登根 仁美様、古波蔵 豊様、平良 亮様には衷心より厚くお礼申し上げます。

浦添市教育委員会